

科目名		木造計画演習				
担当教員		目黒 敬也		実務授業の有無	有	
対象学科		建築大工科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択		必修	授業形式	演習	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方		建築大工技能検定の検定取得の対策として、展開図の概要、作図方法を学ぶことで図面の必要性を理解し、また図面を読み取る力を習得し検定試験の合格基準に準ずるスキルを習得する。 1.説明→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2.展開図の作図方法の基本を中心に、展開図の見方、描き方を解説・演習する。 3.検定対策として、制限時間を設けて時間内に描けるよう繰り返し練習する。				
学習目標 (到達目標)		原寸図を理解し、設けられた制限時間内に原寸図が描き終わるようになり、建築大工技能検定2級の取得を目指す。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		大工技術を学ぶ1、配布資料、大工道具、製図道具				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	原寸図の概要説明 ①原寸図にある各種図面（平面図・正面図・側面図・展開図）を理解する			方法：原寸図の読み方の説明と解説。 達成目標：①の理解		
2	原寸図-1 ①CADを使って原寸図を描く			方法：作業内容の説明、注意事項の説明。 達成目標：①の作業の習得		
3	原寸図-2 ①検定と同じ大きさの紙に原寸図を描く			方法：作業内容の説明、注意事項の説明。 達成目標：①の作業の習得		
4	原寸図-3 ①制限時間を設け、時間内に原寸図を描く			方法：作業内容の説明、注意事項の説明。 達成目標：時間内に原寸図を描き終わる		
5						
6						
7						
8						
9						
10						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
原寸図の評価	取組姿勢			建築大工技能検定2級の対策として、原寸図を描けるように基礎知識をしっかりと理解させる。練習を繰り返すことで、早く作図ができるような手順を体に覚えさせていく。		
70 %	30 %	%	%			
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		建築大工として約5年実務に携わる				